



## 堺 平和のための戦争展



同仁会も展示で参加しました

7月27日28日の2日間、  
サンスクエア堺で「堺 平  
和のための戦争展」が開催  
されました。今年のテーマ  
は「かがやけ憲法 みんな  
で平和のバトンをつけて  
う」です。展示や体験・交流  
コーナーなどに、約120  
0人の参加がありました。

初日のステージでは、合唱  
「ぞうれっしゃがやつて  
きた」「君死にたもうこと  
なけれ」や和太鼓、子ども  
たちの一輪車。堺市で古墳  
の研究と保存運動にとりく  
んできた、歯科医師の宮川  
を展示了しました。(事務局)

最初に、月2万円の年金  
収入だけの82歳の女性が52  
歳の引きこもりの娘と生  
活。預金も底をつけ生活保  
護を申請したが「娘が働け」  
と追い返される。タンスに  
入れておいた、ナント! 5  
年前の生活と健康を守る会  
(生健会) のビラを持つて  
相談にきた事例など、リア  
ルな話や大金持ちの実態な  
ど説明されました。そして、戦後  
の社会保障運動の出発は、すべて憲法25条だと  
強調されました。

社会保障運動の原点であ  
る人間裁判(朝日訴訟)  
について、保護基準は固定的  
ではなく、絶えず進展向上  
する。最低限度の生活水準  
は、決して予算の有無によ  
つて決めてはならない。な  
ど画期的な判決が、その後  
の生活保護基準の引き上げ  
や社会保障の改善や拡充に  
つながったと力説されました。  
しかし、国は1979年  
以降「日本型福祉社会」と  
いう表現で国民には自助・  
共助を押しつけ、国の責任  
を曖昧にし、社会保障を改  
悪してきたと説明されました。  
それは、生活保護が社会保  
障制度の岩盤だからだとの  
説明に納得できました。運動  
で大切なことは、当事者  
が主人公になる工夫をする

8月3日の酷暑の扈下がり、サンスクエア堺で自治体  
キャラバン事前学習会が開催され、全大阪生活と健康を  
守る会連合会の会長の大口氏を講師に迎えて「社会保障  
運動の過去・現在・未来」について学びました。

過去最高52人が参加!

# 系統的に学べて、良かつたわあ!

好評だった自治体キャラバン事前学習会



健  
診  
の  
—16—



がん検診を受ける方が  
増えています

現在、日本は国民の2  
人に1人ががんにかかる  
時代だと言われています。  
そのため、がん検

診を受診する方が増えて  
います。堺市など多くの  
自治体が実施している5  
大がん検診(大腸、肺、  
胃、乳、子宮)の当院で  
の実施件数は、年々いず  
れも増加傾向です。

今年度は自己負担無料  
化の最終年とされています。  
この機会にぜひ検診  
を受診しましょう。



暑さに悲鳴

60年のあゆみ

富田林市

西区鳳南町

馬場 由伸 (67歳)

耳原病院の「60年のあ  
ゆみ」が、とても良かっ  
たです。何度も危機があ  
ります。何度も乗りました。前倒産・セ  
ラチア菌感染の時も、病  
院職員と友の会が中心  
に、経営と地域や仲間と  
の再建を成し遂げておら  
れます。また3つの乖離  
を克服された話など、今  
も生きているのだと思い  
ます。

西区鳳南町

野間 多絵子 (70歳)

耳原病院の「60年のあ  
ゆみ」が、とても良かっ  
たです。何度も危機があ  
ります。何度も乗りました。前倒産・セ  
ラチア菌感染の時も、病  
院職員と友の会が中心  
に、経営と地域や仲間と  
の再建を成し遂げておら  
れます。また3つの乖離  
を克服された話など、今  
も生きているのだと思い  
ます。

西区鳳南町

吉田 礼子 (67歳)

耳原病院の「60年のあ  
ゆみ」が、とても良かっ  
たです。何度も危機があ  
ります。何度も乗りました。前倒産・セ  
ラチア菌感染の時も、病  
院職員と友の会が中心  
に、経営と地域や仲間と  
の再建を成し遂げておら  
れます。また3つの乖離  
を克服された話など、今  
も生きているのだと思い  
ます。

西区鳳南町

永井 由美子 (77歳)

耳原病院の「60年のあ  
ゆみ」が、とても良かっ  
たです。何度も危機があ  
ります。何度も乗りました。前倒産・セ  
ラチア菌感染の時も、病  
院職員と友の会が中心  
に、経営と地域や仲間と  
の再建を成し遂げておら  
れます。また3つの乖離  
を克服された話など、今  
も生きているのだと思い  
ます。

西区鳳南町

池田 一郎

耳原病院の「60年のあ  
ゆみ」が、とても良かっ  
たです。何度も危機があ  
ります。何度も乗りました。前倒産・セ  
ラチア菌感染の時も、病  
院職員と友の会が中心  
に、経営と地域や仲間と  
の再建を成し遂げておら  
れます。また3つの乖離  
を克服された話など、今  
も生きているのだと思い  
ます。

西区鳳南町

幸野 紀子 (43歳)

耳原病院の「60年のあ  
ゆみ」が、とても良かっ  
たです。何度も危機があ  
ります。何度も乗りました。前倒産・セ  
ラチア菌感染の時も、病  
院職員と友の会が中心  
に、経営と地域や仲間と  
の再建を成し遂げておら  
れます。また3つの乖離  
を克服された話など、今  
も生きているのだと思い  
ます。

西区鳳南町

柿本 初野

耳原病院の「60年のあ  
ゆみ」が、とても良かっ  
たです。何度も危機があ  
ります。何度も乗りました。前倒産・セ  
ラチア菌感染の時も、病  
院職員と友の会が中心  
に、経営と地域や仲間と  
の再建を成し遂げておら  
れます。また3つの乖離  
を克服された話など、今  
も生きているのだと思い  
ます。

西区鳳南町

吉田 理子 (67歳)

耳原病院の「60年のあ  
ゆみ」が、とても良かっ  
たです。何度も危機があ  
ります。何度も乗りました。前倒産・セ  
ラチア菌感染の時も、病  
院職員と友の会が中心  
に、経営と地域や仲間と  
の再建を成し遂げておら  
れます。また3つの乖離  
を克服された話など、今  
も生きているのだと思い  
ます。

西区鳳南町

水谷 每夏

耳原病院の「60年のあ  
ゆみ」が、とても良かっ  
たです。何度も危機があ  
ります。何度も乗りました。前倒産・セ  
ラチア菌感染の時も、病  
院職員と友の会が中心  
に、経営と地域や仲間と  
の再建を成し遂げておら  
れます。また3つの乖離  
を克服された話など、今  
も生きているのだと思い  
ます。

西区鳳南町

澤田 節子



会員さんから「ともに届いた  
お便りを紹介します。

